

「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2017年度分）

2017年6月30日

計画班名：総括班

計画班名：A01-1

申請者氏名・所属・職名：安田一郎・東京大学大気海洋研・教授

申請者連絡先 電話・メール：04-7136-6040, ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp

対象者氏名・所属・職名：安田一郎・東京大学大気海洋研・教授

対象者連絡先 電話・メール：04-7136-6040, ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp

申請項目（複数可、数字を記入）：3, 4

1. 国際共同航海の調整, 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘, 3. 国際共同研究関連, 4. 研究者派遣, 5. 海外研究者招聘, 6. 研究技術研修, 7. 研究動向調査, 8. その他（ ）

申請課題名：ESSASにおけるOMIX活動の紹介

成果報告要旨（A4数枚以上図表・写真等を含む研究成果報告詳細版を別ファイルで添付すること）：

2017年6月12～15日にノルウェーで開催された「Ecosystem Studies for Sub-Arctic and Arctic Seas (ESSAS)」Open Science Meeting (OSM) において基調講演を行い、国際共同研究をさらに進めた。

全体計画・計画研究・公募研究への寄与：

ESSASは、Future Earthに属するIntegrated Marine Biogeochemistry and Ecosystem Researchのリージョナルプログラムであり、亜寒帯から北極域周辺における海洋生態系やその持続性への気候変動の影響を明らかにすることを目的としている。A03-5班の代表である原田は日本からの科学運営委員会（SSC）メンバーであり、本新学術領域研究はESSASエンドースプロジェクトとして登録されている。ESSASでは年に1度のAnnual Science Meeting (ASM) をSSC輩出国で開催し、海洋生態系研究に関係する最新の研究成果が報告される。また5年に1度のOpen Science Meeting (OSM) はASMを拡大した1000人規模の国際会議を開催する。2017年度はOSMが開催される年であり、6月12～15日ノルウェーのトロムソで開催される。OMIXの成果を世界のコミュニティに知ってもらうために、OMIXのセッション“Advection and mixing and their ecosystem impacts”
http://www.imr.no/essas/international_conference_on_subarctic_and_arctic_science/enが設けられている。

実際の日程：

6月11日 日本出発

6月11日 トロムソ着

6月12～15日 ESSAS OSM 開催

6月15日 トロムソ出発

6月16日 日本着

制度の改善点・感想等：

実際の日程：

使用した予算内訳（旅費とその他の経費に分けて記述）：